

中央大学杉並高等学校外国語科 一般入試の出題方針

～受験生の皆さんへ 外国語科からのメッセージ～

◆教育方針

- ◇ 言語技能4分野（Listening, Speaking, Reading, Writing）のバランスの取れた習得
- ◇ 大学受験のみにとらわれることのない、オールラウンドな英語力の養成
- ◇ 自学自習能力の育成

◆本校外国語科の特徴

- ◇ 全学年でネイティブスピーカーとのTT（ティームティーチング）を実施
- ◇ 「ケンブリッジ英語検定」を1年次と3年次に受検（「ケンブリッジ英語検定」は、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）に完全準拠した国際標準の検定試験です。2020年度からの大学入学共通テストで利用できる資格・検定試験として文部科学省にも認定されています。）
- ◇ 選択科目（3年次）にドイツ語、フランス語、中国語を設置

◆一般入試問題 昨年度からの変更点

- ◇ 大きな変更点はありません。

◆一般入試問題出題方針とアドバイス

1 リスニング問題

①対話文形式の問題

②まとまった長さの英文を聴き、その内容に関する設問に答える形式の問題

⇒アドバイス：

- ・英検3級から準2級のリスニング問題を内容がよく理解できるまで繰り返し聞くようにしましょう。テレビやラジオの英会話番組や、洋画鑑賞を通して会話表現を勉強するのも良い方法です。
- ・音読の習慣をつけることが必ず英語力アップにつながります。

2 長文問題

①内容に関する設問だけを設定した長文問題

②内容に関する設問に加え、文法・単語・熟語なども含めた総合問題としての長文問題

⇒アドバイス：

- ・英文だけでなく、日本語でも新聞や本などを読み、多くの分野の知識、教養を深めておくことは、想像力を持って英文を理解するのに役立ちます。
- ・語彙力を強化しておきましょう。より多くの単語や熟語を知っておくことで英文が読みやすくなります。

3 文法問題

中学3年間で学んだ文法事項を問う問題

⇒アドバイス：

- ・重要な文法事項を含んだ例文は、文の構造について意識しながら、繰り返し書いたり声に出して読むことで自分でも使うことができるようになります。
- ・その上で、並べ替えの問題などは次のように考えてみましょう。

* 日本の医者達がインドに送った薬は、貧しい人々を助けるために使われた。 [過去一般入試問題を一部改変]

() (A) () () () () () (B) () help poor people.

A sent イ which ウ used エ the Japanese doctors オ was カ to キ to ク the medicine ケ India

→長い文だが、文の構造はシンプル。まず主語(S)と述語部分(V)「薬は～のために使われた」を探す。”The

medicine was used to～”である。次に、S,V それぞれを詳しく説明している部分(修飾語句)を付け加える。

「薬」を修飾する部分「日本の医者達がインドに送った」を関係代名詞 which でつなげる。the medicine

which the Japanese doctors sent to India が主語になる。後ろに help poor people があるので、「貧しい人々を助けるために使われた」の意味にするため、動詞 was used とそれ以下の to help poor people をおいて完成！

The medicine which the Japanese doctors sent to India was used to help poor people. 下線が A, B に入る。

四角で囲った「固まり部分」を頭に描き、文の構造にそってパズルのようにつなげていく練習をしよう。

4 英作文

中学3年間で学んだ文法と単語・熟語を使った問題

⇒アドバイス：

- ・日本語の意味を的確にとらえた上で自由に英文を書いて欲しいと考えて、完全記述の形で毎年英作文の問題を出しています。単語・熟語を何度も書いて正確なスペリングを覚え、多くの英文を声に出して読み、使えるようにしておきましょう。
- ・正解は一通りとは限らないので、直訳しようとせず全体の意味を考えながら文意にふさわしい英文を組み立てることが大切です。例えば下の英作文は次のように考えてみましょう。

* 「塩を取っていただけますか。」「はい、どうぞ。」 [過去一般入試問題より]

→ 中学校の英会話の時間に何度も使ってきたフレーズ、「～していただけますか？」は Would you～? でも Could you～? でもよい。Pass me the ～もよく使われる表現である。salt を solt と書いてしまわないように。日本語の「～を取る」に気を取られて take にしたり、「どうぞ」の日本語を見ただけで意味を考えずに please を使ったりしないよう気をつけよう。物を渡す時は Here you are / go. や Here it is. を使う。「はい」は了解の意味なので、Sure / All right / OK など。「 」は会話文を表す “ ” でくくることも忘れずに。“Could you pass me the salt?” “Sure, here you are.” のように書いてみてはどうだろう。

* 宿題が終わったら車を洗うのを手伝ってくれない? [過去一般入試問題より]

→ 「～してくれない?」と親しい感じなので、Will you～? か Can you～? を使う。丁寧に言う時は Would you～? Could you～? を使ってもいい。「(人) が～するのを手伝う」という言い方は help+人+(to)動詞の原形が使える。「宿題が終わったら」の部分は、時・条件を表す副詞節の中では未来のことで現在形で表すことに注意すると、after / when you finish your homework となり、after / when you will finish your homework ではない。

Will you help me (to) wash the car after you finish your homework? は正解例のひとつである。